

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	温暖化対策推進事業		部課コード	1805	予算事業科目	010401030295	事	単	区分	継続	
所管部署	担当部局	環境部	部長名(2次評価者)	明神 公平		個別事務	全部	010401030295	-		
	担当部署	環境政策課	所属長名(1次評価者)	池内 章					-		
	電話番号	088-823-9209	E-mail	kc-180500@city.kochi.lg.jp					-		

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け										
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	市民・事業者・行政が一体となって、協働・参加による環境保全活動に取り組み、地球環境に貢献する循環型社会システムの確立を目指します。						
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する循環型社会の構築								
項	01 保健衛生費	施策	01 地球環境問題への取り組み								
目	03 環境対策費	区分	01 地球環境への負荷低減の推進								

2 事業の根拠

法律・政令・省令	地球温暖化対策の推進に関する法律第20条の3	法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	高知市地球温暖化対策地域推進計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民, 事業者等	
意図	どのような状態にしていくのか	温室効果ガス排出削減に関する様々な事業を推進し、高知市域で排出される温室効果ガスの総排出量を平成16年度を現状として、平成20年度から平成24年度末までの間に13.9%削減(1990年比-6%)していく。	
手段	事業実施体制等	平成21年度より政策事業として予算化。平成22年度には機構改革により低炭素都市推進室を設置し、より専門的に事業を実施していく。	事業開始年度 平成21年度
			事業終了年度 -
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> 「土佐から始まる環境民権運動」を通じた全市民的啓発活動 例)よさこいEcoライフチャレンジ、夏休み企画「親子でスーパーマーケット大冒険」(小学生及びその保護者対象) 環境保全に取り組む事業者や団体等と協定を締結 Eco商店街の形成を推進するためのEco商店街認定制度の実施 	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方
	A	よさこいEcoライフチャレンジへの参加世帯数	電気、ガス等のエネルギーの削減量やその手法について評価を行い、成績優秀者を表彰するよさこいEcoライフチャレンジ事業への参加世帯数
	B	レジ袋の削減枚数	「土佐から始まる環境民権運動推進協定」を締結した市内量販店がレジ袋の辞退率等により算出したレジ袋の削減枚数
	C	市域の温室効果ガス排出量	

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	よさこいEcoライフチャレンジへの参加世帯数	目標	-	30	50		
			実績	-	12			
	B	レジ袋の削減枚数	目標	-	100万枚(H21.10~)	900万枚		
			実績	-	416万枚(H21.10~)			
	C	市域の温室効果ガス排出量	目標	-	-			
			実績	-	-			
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)			661	900		
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	0	661	900	
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	0	0	14,250	27,750		
		正規職員 (千円)	0	0	14,250	27,750		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)			1.90	3.70		
		正規職員 (人)			1.90	3.70		
		その他 (人)						
	総コスト= ① + ② (千円)		0	0	14,911	28,650		
市民1人当たりコスト (円)		0	0	44		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 協定を締結した量販店の店舗を利用して、小学生を対象に環境学習を実施。地球温暖化の現状や、それを防止するために家庭や身の回りのできることを学び、オリジナルエコバッグを作成して買い物体験を実施した。
今後も手法や開催場所等を検討しながら市民への啓発活動を進めていく。
- 市内の温室効果ガス排出量の算定は、国県等のデータが多数必要であり、2年以上遅れる。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 21 日）

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく	B (3) 一部結びつく	B	4.0	世界的に温暖化防止対策が求められる中で、地域の温室効果ガスの総排出量の削減に取り組む事業であり、総合計画に位置付けられる「地球環境に貢献する循環型社会の構築」にも合致している
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	C (1) あまり結びつかない	D (0) 結びつかない			
	A (5) 非常に多い、急増している	B (3) 横ばいである	A			
	C (1) 少ない、減少している	D (0) ほとんどない				
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	B (3) 概ね達成している	B	3.0	21年度からの事業で、今後も事業の充実や拡大を図っていく必要はあるが、協定を締結した量販店ではレジ袋削減等一定の効果が出ている
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	C (1) あまり順調ではない	D (0) 十分な成果を望めない			
	A (5) 妥当である	B (3) 概ね妥当である	B			
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 見直しが必要である				
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B (3) 行政主体が望ましい	A	4.0	市民・事業者等や庁内各部署ととも連携しながら、コストを考慮し効率的な方法に取り組んでいる
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	C (1) 検討の余地はある	D (0) 十分可能である			
	A (5) 現状が望ましい・できない	B (3) 概ね効率的にできている	B			
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 十分可能である				
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	B (3) 概ね保たれている	A	5.0	事業実施、結果は広報、HP等で周知に努めている。啓発が中心であり、受益者負担を求める事業でない。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	C (1) 偏っている	D (0) 公平性を欠いている			
	A (5) 適正な負担割合である	B (3) 概ね適正な負担割合である	A			
	C (1) 検討の余地がある	D (0) 検討すべきである				
総合 点	16.0	○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
		B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合)				
		C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合)				
		D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)				

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	1次評価のとおり
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項